



取付説明書

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

■装着可能車種と製品の仕様

- 車 名：MAZDA CX-5/AXELA/ATENZA
- 型 式：KE2** / BM2** / GJ2**
- エンジン：SH-VPTS/SH-VPTR
- 年 式：2012年2月～2018年3月（CX-5）
2013年11月～（AXELA）
2012年2月～2018年5月（ATENZA）
- 製品名称：BLITZ SUCTION KIT
- 製品番号：55707

■お願い！！

- ・本説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- ・装着作業は専門の知識を持った整備工場などに依頼して下さい。

■はじめに確認して下さい！

- ・この製品は、下記の部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は、販売店または弊社までご連絡下さい。
- ・本製品を装着前に落したり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合があります。十分に注意して下さい。
- ・作業に取りかかる前に、必ず下記の点を点検して下さい。純正のホースやバンド等の部品に、変形、割れ、ひび等の劣化が生じていたら、純正品の新品に交換して下さい。
- ・ガスケット、シール類は再使用せず、純正品の新品に交換して下さい。

■重要事項の確認

- ・本製品はノーマル車種を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ等）を装着していたり、事故歴のある車種の場合は本キットの装着ができない場合があります。
- ・本製品を装着すると、車種により燃料セッティングが必要になる場合があります。
- ・作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- ・表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- ・一般公道での走行は、道路運送車両法を守って走行してください。

■製品についてのお問い合わせ

株式会社 ブリッツ サポートセンター 〒202-0023 東京都西東京市新町 4-7-6 TEL：0422-60-2277 FAX：0422-60-0066

★本文中の純正品とは、自動車メーカーの標準装着品の意味です。

パーツリスト							
サクシヨンパイプ①		サクシヨンパイプ②		シリコンホースφ70×70mm		シリコンホースφ80×55mm	
	1		1		1		1
ホースバンド小		ホースバンド大					
	2		2				

■ ノーマルパーツの取り外し (CX-5 / AXELA / ATENZA 共通)

※必要に応じて、取り外したホース及びパイプ類にマーキングを行いながら作業を行ってください。

※作業時はバッテリーのマイナス端子を切り離してください。

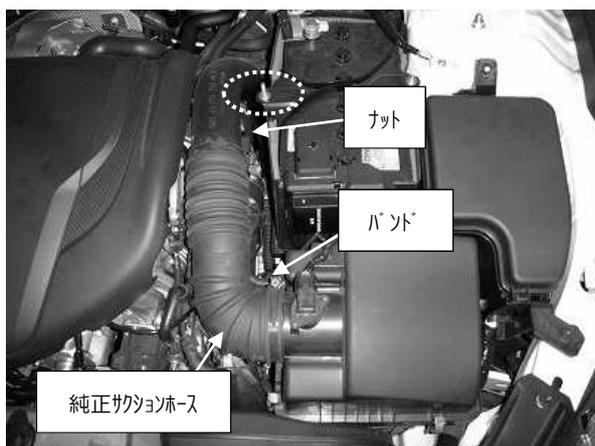


図 1



図 2

- ① ホースバンド（2ヶ所）を緩め、樹脂側のサクシヨンホース下部にあるナットを取り外して、純正サクシヨンホースを取り外します。（図 1、2 参照）

※純正クリーナー-BOX の上側を外すと作業がし易くなります。

※バッテリーのステーが非常に近いので、取り外す際は注意して下さい。（図 1 破線丸部）

※純正サクシヨンホースを取り外した際、ホコリなどの異物がエンジン側に入らないよう、注意してください。

■キットパーツの取り付け

① 付属のシリコンホース、ホースバンドを使用して、サクションパイプ①、②を取り付けます。(図3、4)

※サクションパイプ①を取り付けの際は、純正ホースバンドを最大限に緩めて、しっかり奥まで差し込んで下さい。

※シリコンホースは、φ80×55mmをクリーナー-BOX側に使用して下さい。

※ホースバンドは、大きい方をクリーナー-BOX側に使用して下さい。

※この時、すべてのホースバンドは仮止め程度にして下さい。



図3

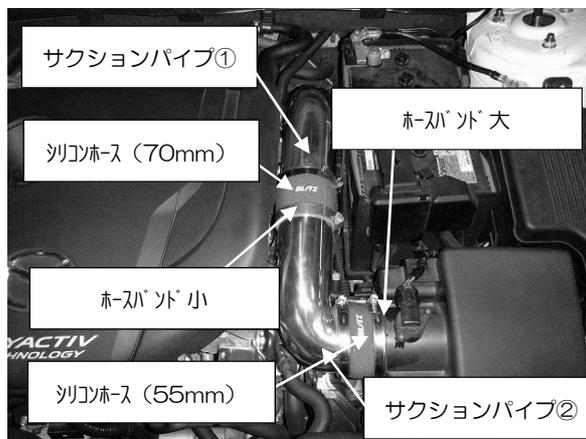


図4

② (図5~図8)破線部がエンジンの振動によって接触する可能性がありますので、サクションパイプとシリコンホース位置を調整し、なるべく各部のクリアランスが大きくなる様、位置決めを行ってからすべてのホースバンドの本締めを行って下さい。



図5

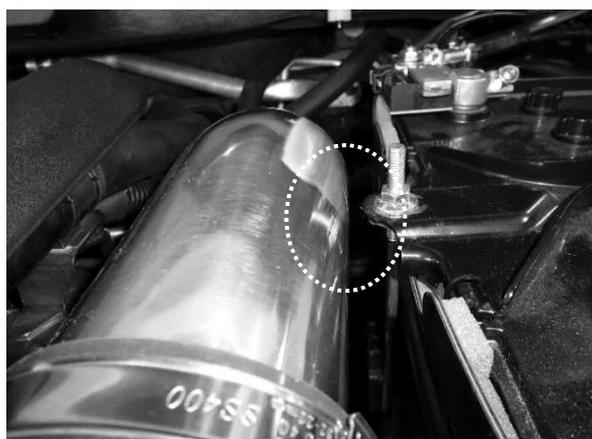


図6 バッテリースター横



図7 サクションパイプ①下部

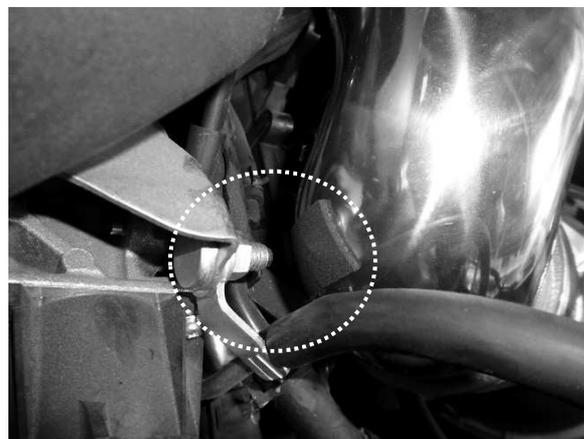


図8 サクションパイプ②横

- ③ ブローパイプがサクシオンキットと接触する場合があります。接触してしまう場合は、ブローパイプ保護スポンジの位置を変えて、ブローパイプが直接サクシオンと触れないようにして下さい。(図 9、10 参照)

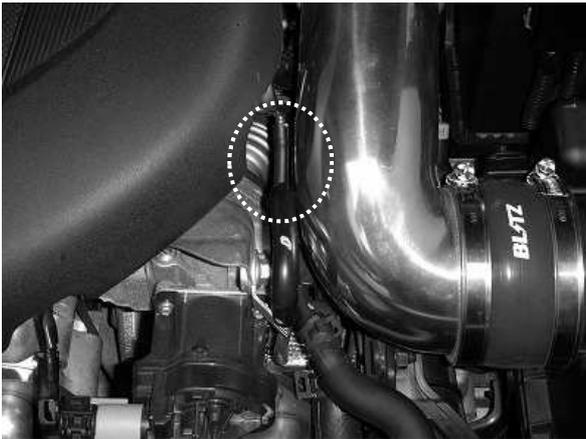


図 9



図 10

- ④ バッテリーのマイナス端子を取り付けて下さい。

以上でキットの取り付けは終了です

■弊社コアタイプエアクリナー同時装着の場合

弊社コアタイプエアクリナーと同時装着の場合は、サクシオンキット単体での取り付けよりも振動が大きくなります。

前述の位置調整に加え、バッテリーとバッテリーステーをヒューズボックス側へ動かす事で干渉を防止できます。

バッテリーステーのナットを緩め、ヒューズボックス側へ移動し

再度固定をお願いいたします。(図 11 参照)



図 11

■エンジンの始動にあたって

- ・必ず換気のよい場所で行って下さい。
- ・各部品はしっかりと固定されているか、エア漏れはないか確認して下さい。
- ・配線・配管の取り回しは、周囲の部品との干渉に注意して下さい。
可動部と接触したり、長時間の走行で配線・配管に傷が付いたり、配線ショートを起こしたりすると、最悪の場合はエンジンが破損する恐れがあります。
- ・テスト走行を行い、エア漏れがないか、アイドリング状態に異常はないか等各部に不具合がないかどうか、確認して下さい。
もし、不具合があるようでしたら、もう一度本取扱説明書をよく読み、各部のチェックを行って下さい。

■装着後のお願い

- ・装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- ・本書は、作業が終了しましたら、必ずお客様に返却し、車内に大切に保管して下さい。
- ・キット取り付け後の自動車メーカーの保障につきましては、弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。